

# 令和2年度 県の防災の取組

# 令和2年度の主な取組

## 訓練

取組	実施日	実施内容
災害対策図上訓練	令和3年 2月5日	令和元年佐賀豪雨をはじめ、近年の風水害で課題となった内容を中心に、県の災害対策本部での対応手順や関係機関と連携した訓練 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、研修会方式で実施
原子力防災訓練	令和2年 11月7日	防災業務関係者の防災対策に対する習熟及び防災関係機関相互の連携協力体制の強化並びに地域住民の原子力防災意識の向上を図ることを目的に、国、福岡県、長崎県と連携した訓練を実施 今年度は新型コロナウイルス感染症が発生している中での実施となったため、以下の2点をポイントとして実施。 ・参加者が訓練の中で感染するようなことがないよう感染予防の徹底 ・感染症流行下での原子力災害時における防護措置の確認
国民保護共同訓練	令和3年 2月15日	武力攻撃事態等が発生した際の国民保護法に係る国、県、市町それぞれの業務や相互連携の確認等を目的とした訓練 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、検討会方式で実施
住民主体の避難所運営訓練	令和2年 11月29日	他県の事例から避難所運営を住民主体で行う方が、有効に機能していたことを受け、住民が主体となった避難所の設置運営手順を確認 なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模を縮小して実施
初動対応訓練	令和2年 4月3日	突発事態の発生を想定し、職員の迅速な対応に向け、初動対応の手順を確認
避難情報伝達訓練	令和2年 5月27日	市町が発令する避難情報について、Lアラートのシステムを活用し、報道機関を通じた住民への伝達手順を確認

# 令和2年度の主な取組

## 防災体制の強化

取組	内容
航空消防防災体制の整備	災害時の初動対応とヘリの受援体制を強化 令和2年4月の防災航空隊発足、12月の防災航空センターの完成とヘリの納入、令和3年1月からの各種訓練を経て、令和3年3月28日に運用開始
防災行政通信ネットワーク再整備	防災行政無線設備機器等の更新（回線容量の増強、映像配信装置整備）及びヘリテレ設備整備 これにより市町及び消防本部でヘリテレ映像が視聴可能に
災害時のドローン活用検討	令和元年佐賀豪雨を踏まえ、実証実験を重ねながらドローン活用を検討 被災地へ派遣する県職員の現地での情報収集用として、危機管理防災課に1台配備

# 令和2年度の主な取組

## 普及啓発

取組	内容
防災アクション 推進事業	県民に防災行動（アクション）を促すための防災啓発動画を制作し、県のYouTubeアカウント等で公開 再生回数は13万回以上
伝えよう佐賀の 災害歴史遺産	災害歴史遺産の由来等を紐解き、そこから得られた教訓を伝えていくことにより、地域の防災力向上に資するとともに、今後も災害歴史遺産を守っていくという意識の高揚を図ることを目的に啓発冊子を作成し、県内小学5年生に配布 今年度は令和元年佐賀豪雨についてのページを追加しており、県HPでも公開中
令和元年佐賀豪雨 パネル展	令和元年佐賀豪雨から1年となる時期に合わせ、豪雨被害を風化させず後世に語り継ぐため、パネル展を県庁1階の県民ホールで実施
原子力防災のてびき	原子力災害対策の基礎知識の普及を目的としたてびきを毎年作成しており、県内全世帯へ配布 感染症流行下における原子力災害時の避難についての記載を追加

# 令和2年度の主な取組

## 研修・セミナー

取組	実施日	内容
佐賀県防災 トップセミナー	令和2年 8月28日	市町の災害対策本部長となる市町長が、災害発生時にリーダーとしてより適切・効果的な対応を行うためセミナーを実施 今年度は近年の風水害での対応に関する意見交換を実施
地域防災力向上 シンポジウム in佐賀2021	令和3年 1月14日	唐津市において、水害から要配慮者の命を守ることをテーマとしたシンポジウムを実施 なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参観を制限し、後日動画をWeb公開
地域防災リーダー 養成講座	令和2年 10月3日・ 10月17日	各地域で地域防災力向上に寄与できる人材育成として養成講座を2日間に渡り実施 なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模を縮小し実施（例年100名程度養成のところを70名に）
地域防災リーダー フォローアップ研修会	令和3年 2月27日	既存の地域防災リーダーに対する新たな知識の充実のために、鹿島市で研修会を実施 なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、規模を縮小し実施
自主防災組織リーダー 研修会	令和2年 8月29日・ 11月15日	唐津市・神崎市で自主防災組織の役員向けの地域防災力向上に関する研修会を実施
市町防災担当者研修	令和2年 5月20日・ 7月31日	市町の防災担当者を対象とした研修会を開催し、災害救助法や被災者生活再建支援制度に関する知識を習得し、災害時の被害情報等の共有に関する手順確認を行った

# 防災アクション推進事業

佐賀豪雨での教訓化事項をはじめ、出水期前に備えるべきポイントを盛り込んだ48秒動画を制作し、令和2年6月上旬に、YouTubeでの動画配信を開始。



動画  
QRコード

○ 再生回数

13万5276回

※令和3年3月8日現在

# 航空消防防災体制の整備

消防防災ヘリコプター『かちどき』

いよいよ運用開始！



# 航空消防防災体制整備の主な経過



年	月	内容
H29	2	GM21ミーティングにおいて、県に対し防災ヘリ導入要望
	11	「佐賀県航空消防防災体制整備検討委員会」設置
H30	5	委員会報告書策定（3月）、県の体制整備方針決定
	7	「佐賀県防災航空隊運営連絡協議会」を設置（県、市町、消防で構成）
	10	防災ヘリの調達契約締結
R1	10	防災航空隊の運営に関する協定を締結（締結権者：県、市町、消防） （市町負担金などについて取り決め）
	12	防災航空センターの建築工事着工
R2	4	<u>防災航空隊発足</u> <ul style="list-style-type: none"><li>・活動班9名（消防本部派遣職員）</li><li>・運航班10名（エス・ジー・シー佐賀航空の操縦士、整備士等）</li></ul>
	12	<u>防災ヘリコプター納入</u>
R3	1	<u>防災航空センター</u> <u>飛行訓練開始</u> （1/12～）



# これまで、運用に向けて着々と準備を進めてきました



## R2.4.1 佐賀県防災航空隊を発足



**活動班**（5消防本部から派遣された隊員9名）と  
**運航班**（ヘリの操縦、整備、運航管理）で構成

これまで・・・

- 他県航空隊と実機を使った合同訓練
- 航空機不時着訓練
- 消防学校での訓練 などを実施！

## 隊のエンブレム 決定！



- 県鳥「カチガラス」が佐賀県を俯瞰し、県土全体を見守っている。
- **7つの星**は、唐津の7つの離島、5消防本部・県・運航委託会社**7者の連携**を表す。

# へり納入までの主な取り組み（運用に向けた準備）



## 研修・訓練

- 他県航空隊などでの研修訓練  
（九州各県、岐阜県、岡山市、佐賀県警）
- 航空機不時着水中脱出訓練
- 運航の基礎教育研修（座学）
- 航空無線の免許取得 etc



## 消防との調整

- 防災へりの運用に係る検討作業  
消防本部と検討会議開催
- 県内各消防署職員との意見交換実施  
航空隊が県内各消防署へ出向き、消防署職員向けに、防災へりの運用方針、要請方法等を説明し、意見交換を行った（計14回開催）

## その他

- 運航規程、各種マニュアルの策定
- ヘリコプター保有機関などの関係機関との意見交換、調整
- 各種資機材の選定・調達

# 昨年末、待望の防災ヘリ『かちどき』が佐賀県へ！



【機種】BK117 D-2型

## 特徴

- ・後部ドアからの担架搬入が可能
- ・コンパクトで着陸の制限が少ない
- ・騒音が小さい など

## ヘリ愛称「かちどき」

「“カチ（かち）” ガラスが、  
郷“土（ど）”に“奇（き）”跡をもたらす」

航空隊をカチガラスに見立て、  
出動直前に士気を高めるための関（とき）  
の声、無事に帰還した際に勝関（かちどき）  
をあげる意味も

## ヘリ機体番号「JA153L」

「JA」：国籍記号

「153」：イチゴの品種「いちごさん」

「L」：ロゴマークの女性（“L” ady）



# 防災航空隊の活動拠点も整備



## R3.1.1 佐賀県防災航空センター設置 当センターを拠点に、広域的かつ機動的に活動を展開

### 概要

所長・運航安全管理監・防災航空隊を配置

- 建屋（ヘリ格納庫・事務所）
- 第一駐機場（舗装エリア）  
≫ 防災ヘリ駐機場（10機分）、ヘリパッド
- 第二駐機場（グラスエリア）  
≫ 受援用のヘリ駐機場（12機分）、訓練

建屋の5本のラインは、航空隊に求められる災害時等の迅速な動きを表現。5消防本部から派遣された隊員が活動することも表す。



# 『ouchiiki』納入後の訓練

1/12  
~

実機を使っでの機体・地形習熟訓練

1月下旬  
~  
3月

自隊訓練、消防本部との連携訓練を実施

- 救助訓練（山岳、高規格道路上、水難等）
  - 情報伝達訓練
  - 離島への隊員投入訓練
  - 空中消火活動訓練
  - 水難救助訓練
  - 病院ヘリポート離着陸訓練
- など



**3月28日、いよいよ防災ヘリコプター運用開始！**

# 「かちどき」が大空から佐賀を守ります！

365日運用

災害時の**初動**対応とへりの**受援**体制が充実！

県内のほぼ全域が  
**15分圏内**！

## 初動

災害時の迅速な情報収集

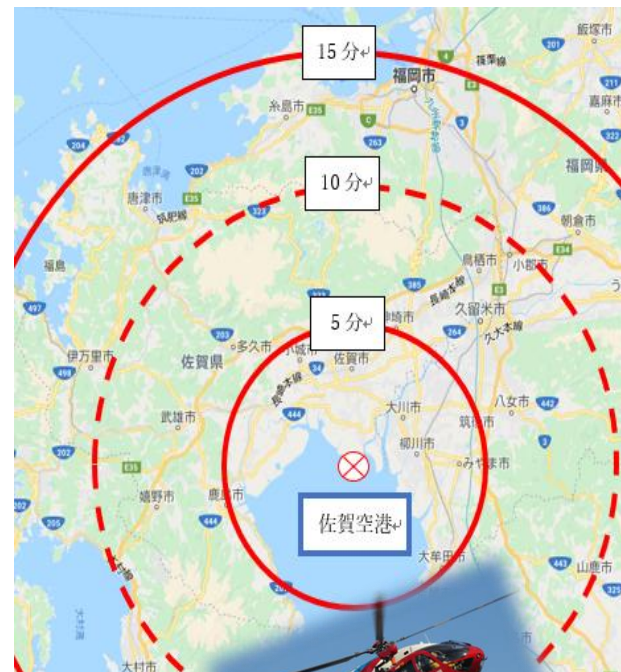


救助、救急、消火活動など  
緊急要請の迅速な対応



## 受援体制

他県からの応援へり部隊の運用精度向上



発災

大雨、地震林野火災 など



119番



市町村消防本部



出動要請



佐賀県防災航空隊

出動



# 3月28日、防災ヘリコプター運用開始

～災害対応の**スタートダッシュ**の力に～



## お問い合わせ先

佐賀県 政策部 危機管理防災課 消防保安室

TEL : 0952-25-7026 FAX : 0952-25-7262

MAIL : kikikanribousai@pref.saga.lg.jp

佐賀県 防災航空センター

TEL : 0952-34-9001 FAX : 0952-45-9070

MAIL : bousaikoukuusenta@pref.saga.lg.jp